

よみがえれ！  
有明訴訟弁護団  
(後藤富和)発行  
092-512-1636  
090-9602-0700

# 「開門の先延ばしは絶対に許さない」

## 開門進展せず国に怒り 追加提訴



### 諫早湾漁業者、3件目提訴

【3月30日・朝日】国営諫早湾干拓事業をめぐる、長崎地裁で3件目となる開門訴訟を起こした諫早湾内の漁業者の弁護団は29日、長崎市内で記者会見した。弁護団は「今回

の提訴は漁業者たちの怒りの声。国は潮受け堤防を即時開門すべきだ」と主張した。

昨年12月に確定した福岡高裁判決は、国に3年の準備期間の後、5年間の常時開門を命じたが、国は開門に伴う環境影響評価(アセスメント)の素案が5月にまとまってから具体的な協議に入る考へ。開門に向けた動きは進展しておらず、漁業者らは「国は不誠実だ」と批判を強めていた。長崎地裁へ提出した訴状では「判決の重みを理解せず、漁業者らの切実な願いを踏みにじっている」と批判。今回の提訴は「漁業者の怒り」が背景にある、とした。

会見した馬奈木昭雄・原告弁護団長は「開門に向けて必要なのは農業用水の確保。国はその準備を怠っており、地元の営業者を混乱させている。問題解決の先延ばしは絶対に許せない」と強調した。

### 諫早開門訴訟第3陣追加提

### 訴瑞穂漁協組合長ら一四人

【3月30日・長崎新聞】諫早湾の漁場環境悪化は国営諫早湾干拓事業が原因として、湾内と周辺の漁業者が国を相手に潮受け堤防排

水門の開門などを求めた訴訟で、雲仙市議会議員で瑞穂漁協の石田徳春組合長(73)ら組合員5人と諫早市小長井町漁協の組合員9人の計14人が29日、長崎地裁に追加提訴した。瑞穂漁協は昨年2月、湾内3

漁協の中で初めて「開門賛成」に方針転換。雲仙市議会は同5月に開門反対の意見書を可決している。長崎新聞社の取材に石田組合長は「原告となったのは一人の漁業者として。18年休漁が続くタイラギ漁など湾内は漁業不振にあえいでいる。開門にいちろの望みをかけた」と語った。漁業者が開門を求めて長崎地裁に提訴したのは3回目。原告総数は84人。

開門をめぐるのは、有明海沿岸の漁業者らが佐賀地裁に起こした訴訟の控訴審で昨年12月、3年間の猶予の後に排水門の5年間常時開放を命じた判決が確定。国側は5月の環境影響評価(アセスメント)の中間報告後に開門方法など具体策を検討したいとして、原告側が即時開門を求める長崎訴訟で29日に予定していた第1陣の判決延期を求め、長崎地裁は6月27日に延期した。

原告弁護団の馬奈木昭雄団長は「追加提訴は協議を先送りし、誠実な対応をしない国に対する漁民の怒りの声だ」と話した。

### 諫早開門反対訴訟・回覧

### 板募金に反対 婦人の会

【3月31日・毎日新聞】諫早市自治会連合会が諫早湾干拓事業開門反対訴訟費用の募金を回覧板で呼び掛けている問題で、新日本婦人の会諫早支部(小山市支部長、約190人)は30日、募金中止を求め

る申し入れ書を連合会に提出した。受け取った芦塚末光連合会長は「昨年5月の総会で開門反対を決めており、中止はしない」と応じなかった。書面は「市民の間でも開門について賛否が分かれており、一方的な立場から募金活動をするのは、思想信条の自由を侵害する行為。任意の募金でも不適切」などとしている。小山支部長は「自治会は主義主張を超えた助け合い組織のはず。賛否をうかがう訴訟費用集めは絶対に認められない」と話している。

### 言語道断の行為

支援に駆けつけた小長井・大浦訴訟原告団副団長の平方宣清さん(佐賀県有明海漁協大浦支所)は「これまで求めてきた、漁業・農業の両立を実現するためにも国は一日も早く開門を決断してほしい」と語りました。集会では、諫早市自治会連合会が市内の各自治会に対し、東日本大震災への義援金と合わせ、長崎県が主導する開門阻止訴訟への支援金を拠出させようとしていることが報告され、「言語道断の行為だ」との声が寄せられました。